

**11月は死者の月**  
 すべてのいのちが見守られて

校長 Sr. 大山 江理子



11月はカトリック教会では死者の月です。赤く色づく木々の葉に季節の移り変わりを感じながら、亡くなられた方に思いを馳せ、神さまのくださるいのちについて考えます。

子どもの誕生は出会いです。子どもは世界に出会い、親や家族は子どもに出会って喜び、毎年、誕生日には「おめでとう」と祝います。あるとき、誕生日は自分が祝ってもらってうれしい日というだけでなく、自分が生まれるために苦しんでくれたお母さんに「ありがとう」と感謝する日でもある、という考えに巡り遭いました。はっとさせられる考え方でした。お母さんが決意して、苦しみを受け入れてくれなければ自分の存在はなかったということに深く気づかされました。

死は別れです。もう会えないという悲しみの辛さを伴います。ゆっくりと迎える死もあれば、思いもよらないときに訪れる突然の死もあります。多くの家族に見守られて旅立たれるご高齢の方、不慮の事故や災害、急な病気で亡くられる方、それぞれに別れの物語があります。どのいのちも等しく神さまが大切にしてくださっているとわかっているにもかかわらず、それぞれのいのちの物語の多様な姿には驚かされます。コロナウイルスに翻弄される今年はおさら、それを深く感じさせられます。

人のいのちは、その始まりも終わりも神秘に満ちています。神さまは人間の幸福を願い、導いてくださる方と知っていても、あるいは、そう信じているからこそ、時には「なぜですか?」「どうしてですか?」と怒りや恨みの気持ちさえ抱えながら、神さまのなされることに理解が及ばないままに、神さまに問いかけざるを得ません。

・・・神さま、あなたのいらっしゃるそこには、私たちの愛するすべての人たちが集っていると信じています。その方々は健やかですか? 神さまと一緒にいて、神さまのまなざしを受けて、幸せですか? 神さまと一緒に、地球にいる私たちを見て、喜んだり、励ましたり、祈ったりしていますか? 私たちの心の深い思いを聴いてくださる神さま、私たちの願いは愛する人が幸せでいることです。神さま、別れは辛いです。この思いを受け取って、私たちも見守ってください。私たちが生きる喜びをみつけられるように。地球から、神さまの大きないのちの一員として私たちは祈っています。・・・



**自立への階段**

生活指導主任 橋本 太治

後期が始まり、一ヶ月程が経ちました。今の学年で過ごす時間も折り返し地点となり、子ども達は少しずつ次の学年への階段を上り始めています。子ども達は後期の自分の目標を考えました。できるようになりたいこと、改善したいことなど自分自身を見つめ、考えました。自分で考える経験を重ねる中で、子ども達は少しずつ「自立」していきます。

「自立」という言葉はよく耳にしますが、簡単ではありません。低学年の頃は、基本的な知識・習慣などを習い、土台を築く時期です。それと同時に、自立の一步も大切です。具体的には、「自分で決める」「自分で言葉にする」「自分から行動にうつす」という経験を増やしていくことです。少しずつ、大人がしてあげていたことを子どもに委ねていく。この橋渡しが難しく、相応しいと思われる導き方は子どもの人柄・心の状態によっても変わるため、誰もが手探りで進めていくものかも知れません。それでも、子どもが「自分で」できることを増やしていく、ということは不可欠だと思います。

自立において欠かせないのが、「失敗体験」や「すぐ解決できない壁」の存在です。子ども達は大小関わらず失敗すること、壁にあたることを嫌がります。すぐ解決できず、苦しみ悩む時間が長くなるので当然のことかも知れません。しかし、「自分で」壁を乗り越えようとしていることこそ「自立」です。そしてねばり強く向き合えた時、「失敗や壁の乗り越え方」を体験することになります。これは友達との向き合い方をはじめ、生活、学習いずれにおいても言えることです。学習に置き換えるならば、自分で試行錯誤を体験することが大切です。もちろんこれは大人が見守る中で、要所要所の助言・支援が必要な場合も多々あります。ただ、そうして「自分で乗り越える経験」を積むことが、「生きる力」に繋がっていくことも確かではないでしょうか。

こうした子どもの自立の後押しになるのが、「褒める」ことです。「褒める」ことには大きく二つあると思います。「よい結果に繋がったこと」「結果は問わず、よく自分で向き合ったこと」の二つです。子どもには前者の方が意欲に繋がります。目に見えた形で表れるので分かりやすく、実感もしやすいからです。しかし、本質的には後者の方が大切です。結果が目に見えていなくても、大人がその中に「目に見える結果へ繋がりそうな種」を見つけて、子どもに教え気づかせてあげる。小さな「できた」に繋げ共有する。成長を実感させる。学年の節目でも、成長を実感させ共有する。これが教員をはじめ大人の役割であると思います。

保護者の皆様と共に温かい眼差しで、子ども達が自立への階段を一段一段上っていけるよう見守って参りたいと思います。子ども達が、実りある後期を過ごせますことを願っています。

**11月の行事予定**

1日(日)	初等科入試	17日(火)	1st 聖フィリピン・デュシェーン祝日行事 お祈り会・講演会 (PM)
2日(月)	家庭学習日	18日(水)	聖フィリピン・デュシェーン祝日
3日(火)	文化の日		2nd 聖フィリピン・デュシェーン祝日行事 講演会 (PM)
9日(月)	1年・転入・編入生保護者会	20日(金)	聖心会創立記念日 6年進学説明会(親子)
10日(火)	参観日(ばら組)	23日(月)	勤労感謝の日
11日(水)	避難訓練	30日(月)	ハイチデー②
12日(木)	参観日(ゆり組) 避難訓練予備日		
13日(金)	参観日(きく組)		